



SANJO ROTARY CLUB

三条ロータリークラブ

2010.1.13 (No.2576) 週報 No. 25

第2560地区ガバナー／植木 康之
 会 長／菊池 涉
 会長エレクト／樺山 仁(クラブ奉仕A)
 副 会 長／山田 富義(クラブ奉仕B)
 幹 事／松永 一義
 S A A／成田 秀雄
 会 計／石月 良典

例会日／毎週水曜日12:30～
 例会場及び事務局／
 三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内
 例会場／TEL 34-3311
 事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095

E-mail: sanjo-rc@cpost.plala.or.jp
 http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/
 (～はshiftを押しながら“へ”のキーを
 押してください)

■本日の出席会員数:55名中34名
 ■先々週出席率:86.0%

【ゲスト】

・三条市長 國定勇人 様

季節のお花(ツバキ)



会 長 挨拶

菊池 涉 会長



ご挨拶申し上げます。

「悪魔がきたりて笛を吹く」これは横溝正史です。「天使のように大胆に、悪魔のように細心に」は黒澤明。では「善魔」という言葉をご存じでしょうか？尤も国語辞典に出ては来ませんが、「悪魔」に対して「善魔」です。

以前「魔が差す」といことをお話いたしました。人生は演劇であり、私たちは「操られている」のだと。与えられたその役を楽しむのが人生だとお話いたしました。

「悪」を演じることは実に難しい。私のような小人物には大悪を演じる力量がないものだから、仏さまもそのことは十分見通されてか、「小悪」の役はチョコチョコ回ってくるのですが、幸い「大悪」に手を出して人生を滅茶苦茶にしないで、今のところすんでいます。小心者も役に立つわけです。

しかし逆に「善役」を演じるとなると、これは意外に訓練しなくとも「感情」だけで演じられるものです。しかし感情に突き動かされて行った「善行」は、相手にとってどういう影響を与えているか考えないことが多い。ひょっとすると、こちらの善や愛が相手にとって非常に重荷になっている場合や迷惑な場合だって多いのではないのでしょうか？それなのに、当人はそれに気が付かず、自分の愛や善の感情におぼれ、眼(まなこ)くらんで自己満足している。こういう人のことを「善魔」というのです。

かく言う私も自分がこの善魔であって、他人を知らず知ら



「ロータリーの未来は、
あなたの手の中に」

2009～2010年度国際ロータリーのテーマ

ずに傷つけていた経験を過去にいくつか持っています。その苦い経験を振り返って見ますれば、原因は二つあります。

- ① 相手の心情を慮らなかった
- ② 自己満足に陥った

まさに「過ぎたるは及ばざるがごとし」であります。

私の周りには案外善魔型の人が多いような気がします。善魔型の人には社会不正を憎むあまり、正義感に燃えるあまり、その感情に目がくらんで、突き動かされた行為が、それを受ける周りの人たちにどうという反応を与え、どう影響するか考え及ばないのです。

一時期の学生運動家はその典型でしょう。また女性の中にもこの善魔型がかなりいるように思えます。女性とはかく、自分は善い行いをしている、だから自分の行為を全て相手は認め、受け入れなければならないと考えがちであります。

こういう女性には正直閉口いたします。閉口いたしますが、なにせ相手が善魔ですから、こちらは跳ね返すわけにはいかない。ただただ黙るだけ、逃げるだけ。

「愛」だって同じはずです。愛しているから全て正しいと思っていたら大間違い。愛されすぎる重荷もあることを、愛する側は学ぶべきであります。新年早々自戒を込めて、愛され過ぎておられる先輩諸氏に、一言申し上げました。

幹事報告

松永一義 幹事

◎植木ガバナー事務所より、第2回米山奨学委員長セミナー開催のご案内が届いております。

と き 2月13日(土) PM12:00～
と ころ 柏崎商工会議所 大研修室
出席義務者 今年度及び次年度米山奨学委員長
または代理者

◎東山ガバナー・エレクト事務所より、会長エレクト研修セミナー(PETS)開催日のご案内が届きました。

と き 3月13日(土) AM9:30～受付開始
と ころ やすね(上越市仲町)
出席対象者 会長エレクト・次期幹事
地区諮問委員・地区委員長
地区副委員長・地区小委員長

◎三条ローターアクトクラブより、長久の家 餅つき大会のご案内が届いております。

と き 1月28日(木) PM7:30～
と ころ 長久の家(三条市西本成寺)

◎燕RCより、創立50周年式典のご案内が届いております。

と き 4月10日(土) PM12:30～
と ころ 燕三条ワシントンホテル

ニコニコBOX

菊池 渉さん

先日、家内と上京して、藤原紀香のミュージカルを観てきました。引き立て役が良いもので、紀香さんの脚は長く、胸は大きかったです。

渡辺 稔さん

週報の最初を飾る季節のお花の写真を会員の皆様から募集させてください。

市長様の卓話、ありがとうございます。

末の子が附属中学長岡に合格出来ました。

小出子恵出さん

國定市長様、卓話ありがとうございます。

元気が出る今年を期待しています。

いつもの仲間と、連休にスキーに行ってきた。

樺山 仁さん

日本全国で大雪です。足元に注意ですね。

國定市長様の卓話、誠にありがとうございます。

西山徳芳さん

ニューイヤークンサートを聞かせていただきました。幸せです。

川瀬康裕さん、近藤雄介さん

新年おめでとうございます。

本年もよろしく願います。

若槻八十彦さん、五十嵐昭一さん、明田川賢一さん、

平原信行さん、会田二郎さん、成田秀雄さん、

五十嵐晋三さん、歸山 肇さん、伊藤寛一さん、

船越正夫さん、松永一義さん、丸山行彦さん、

佐野勝榮さん、山田富義さん、金子俊郎さん、

杉山幸英さん、熊倉昌平さん、石橋育於さん、

小越憲泰さん、

國定市長様、卓話ありがとうございます。

楽しみにしております。

1月13日分 ￥29,000
今年度累計 ￥640,500

卓 話

「動き始めた小中一貫教育」



三条市長 國定勇人 様

あらためまして皆様新年明けましておめでとうございます。

ご紹介頂きました三条市長の國定でございます。本年も一年どうかよろしく願い申し上げたいと思います。本日はロータリーさんに30分間の話をさせて頂く機会を頂きまして誠にありがとうございます。

さて30分間お時間を頂いている中で何をお話させて頂こうか、大体毎年経済や予算の関係についてお話をさせて頂く機会もあったかと思いますが考えてみますればこの季節が一番申し上げる事が何も無い季節でありまして、今来年度予算編成真只中こういう事でございます。今の感覚で言いますと2月

の中旬位にはおおよその案を固めるべく作業に取り掛かっているのですが、今日も大変厳しい寒気が日本全国を覆っておりまして外も一面銀世界であります、確かに日常生活を考えると少しおっくうな面もあるかと思いますがこの町は何と言っても物作りの町であります。昨年末から冬の気圧配置になってこうして、雪が降ってくれるとゆうことは間違いなく冬関係のモノが動く訳であります。こうしたモノが動くという事一つを捉えてみますれば、私たち物作りの町三条に息着いている人間からしてみると、この雪はもしかしたら新年早々神様が与えて頂いた本当の意味でのビックなプレゼントなのかなと思っております。景気の回復というのはその原因になった金融不安が解消されるからとか、実態経済を混乱させる要因になった自動車産業の回復だとか、そういう事とは関係無しに何か一つでも切掛けがあってそれによって物が回り始める事が何より大切な事だと思っております。少なくとも三条市にとりましてはこの雪が恵みの雪となって直ちに経済の歯車が回り始める事を期待しておりますし、そうした実感を伴う意味での新年のスタートを切る事が出来たのかなと思っております。

私ども三条市の財政状況の事を考えますと厳しい経済情勢を反映致しまして、おそらく来年度予算編成におきましては本年度の歳入市税収入額で、本年度と来年度を比較した場合約10億円の減収見込みが今の所予想されております。そういう意味では厳しい予算状況であります。そういう中で昨年12月末に原口総務大臣が地方をなんとか頑張るべく底上げをしたいと、地方税総額約1.1兆円の積み増しを政府の中で実現をして頂きました。またそれに合わせまして地方財源対策債という地方交付税と似たような親戚のようなものが有るのですけれどもそれも上積みをして頂きました。おかげさまで今のところ大雑把な概算であります自然収入が10億円減りましたが、それに見合うかややそれを上回る位の形でその1.1兆円のプレゼントがこの三条市の方にも恩恵となって現れてきて、昨年、本年度同様の予算見込みの中での編成作業をする事が出来るのかなと思っております。ただ本年度の場合には当初予算とは別箇にかなり大型の補正をなんとか打ち出しをさせて頂きまして、その中で経済対策の理想が占められているところがございます。現段階での決意といたしましては本年度講じてきた経済対策につきましてはこの経済情勢を考えますと少なくとも現状維持か、ないしは拡充という方向に見込まなくては行けないと思っておりますので、そういった意味では財政と

いう資金繰りの中では引き続き厳しい財政情勢の中で有りながらも、今歯を食しばって何とかお金を捻出できないかと言う事をやっているところという事で、その最終的なカタチ姿としましては来月の半ば以降皆様方にもご案内する事が出来るのかなと思っております。今暫くお待ち頂きたいと思えます。そんな中でせっかくの機会でございますから何をお話申し上げようかと考えておりましたが、考えてみますと今年一年が教育の関係が大きな節目になるのではないかと考えて、今日は小中一貫教育を題材として採上げをさせて頂きました。何故この小中一貫教育について今回お話をさせて頂く事になったのかという事をお話させて頂き、残りの時間で慌ただしくこのスライドに基づいて話をしていきたいと考えています。小中一貫教育につきましてはスライドに基づいてお話させて頂きたいと思うのですが、先学校というか教育施設を取り巻く環境について少しおさらいをして頂ければと思います。今から遡る事2年前中国四川省において大きな地震が発生いたしました。多数の死傷者が発生をいたしました。その時にニュース等々で世界的にも配信をされましたのは学校施設の倒壊で正に授業を受けていた子ども達が学校倒壊の憂き目に遭って圧死をしてしまうという大変痛ましい事例が数多くあったのでございました。それがただ単に中国の問題だけでないだろうと叫ばれ始めましたのがその四川地震が起きてからそう遠くない時期だかと思っております。翻って我が国この日本という国をみた時にはたしてほんとうに日本は大丈夫なのか、改めてチェックをしてみようじゃないかと文部科学省が中心となりまして、日本全体総力をあげて小中高等学校の中でどれだけ震度6以上の地震があったら完全に大丈夫だと言いきれる学校棟数が、どれだけあるのかとカウントしたら大体危ない方の部類だけでも一万棟全国に有る事がわかりました。もちろんその中には三条市の学校も含まれております。この一万棟はざっとしか調べておりませんので地震が有った時には危ないと思われる施設があるなら改修をしなければいけないので、確りとした調査をしましょうと昨年度一年間かけて全国各地で耐震診断調査をしました。これは設計図とか実際にコンクリートの壁の所を削って強度が大丈夫かどうか詳細な調査をした訳であります。三条市は昨年9月にその結果が出てきた訳であります。その結果たるや実は私供が想定していた以上に思っていない結果が出てきてしまったという訳でございます。耐震診断結果というのは普通柱の数を増やすとか筋交いの数を増やすといった補強工事によって大体安全度

が確保されるといったのが主なものなのですが、三条市の場合はそういう事が出来ないと言われた施設が有り、しかもそういった施設が5つにありました。第一中学校、四日町小学校、条南小学校、一の木戸小学校、裏館小学校がどうしても改修をしなければ、万が一の事が有った時子ども達の安心安全を正面切って大丈夫だと言う訳にいかないと勧告されたわけがあります。そうした中であってじゃあ建替えをしなければいけない。その時にどうゆうふうな施設の改修の在り方をすべきなのかということが次の話題として必ず出てまいります。ただ単に建物を造るのではありません。学校施設というものは子ども達の教育、しかも一度建てた施設というものは20年30年長く持ちますので20年30年の子ども達の教育というものを見据えた思想が確りと入り込んだ施設でなければいけない訳であります。そうした中にありまして望むべき教育の姿はなんぞやとこういった事が本来反映されて当然しかるべきものであります。さいわい三条市にはこうした理念なるものが去年の9月から遡りまして2年以上前から検討がなされておいて進んでいるものがございました。それが小中一貫教育であります。ここから少し小中一貫教育についてご紹介をさせて頂きながら話を進めて参りたいと考えております。

具体的には第一中学校区は旧三高跡地を活用させていただき小中一体校を新設、一の木戸小学校は第二中学の隣地を買い取りまして敷地面積を大きくし小中一体校を新設、裏館小学校は第三中学校と一体化を模索しましたが適切な隣地がなく裏館小学校は現地改築する。ということを昨年12月の三条市議会に約2億円超の予算計上をいたしまして議決いただきました。本年度は小中一貫教育を現実のものとして進める大事な年になると考えています。



「動き始めた小中一貫教育」

～次代を担う心豊かな子ども達をはぐくむために～

○三条市基本方針【三条市学校教育目標】

未来を拓き、力強く生きるための「確かな学力」「豊かな心・個性」「健やかな身体」をもった児童生徒

○期待される効果

1. 自分を大切に、人を思い遣る心の育成
2. 学ぶ意欲を高め、夢や希望に向かって努力する子どもの育成
3. 「ふるさと三条」を愛し、誇りに思うこどもの育成
4. よりきめ細かな支援の充実

すでに平成20年度より始まっておりますが、モデル校区として第一中学校区、第三中学校区で小中交流活動、相互乗り入れ授業等はやっています。

アンケート結果では子ども達にはいい結果となっ

ているようです。また教職員の意識を持っていくことが出来るかが課題です。しかしそこまでたどり着けば、プロの先生方ですから失敗することなどないと思っています。

校舎は生まれ変わらなければならないことは必然です。結果的には校舎を建て替えスケジュールに合わせる形で小中一貫教育を完成形に持って行く。あと3年間ありますのでこの3年間を有効に活用しながら進めて行かなければならないと思っています。

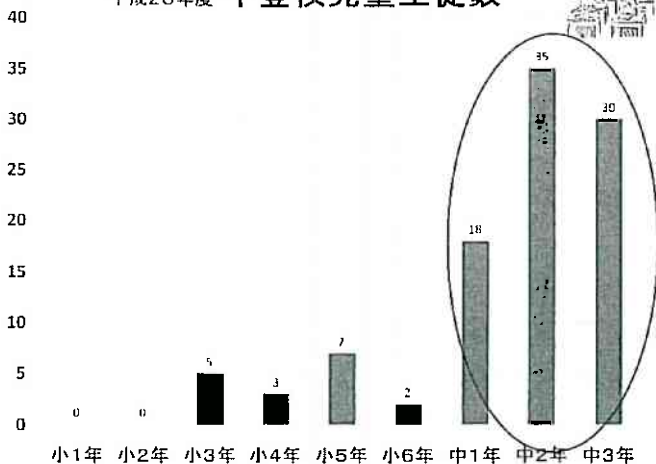
これからやろうとしています小中一貫教育は、学力の為でも財政のためでもない。今の子ども達の力を再度構築して行くことが真の目的です。

本年1年間皆様方がいい一年になりますように、私共も色々な形でサポートが出来るように歯を食いしばって頑張っていきたいと思えます。

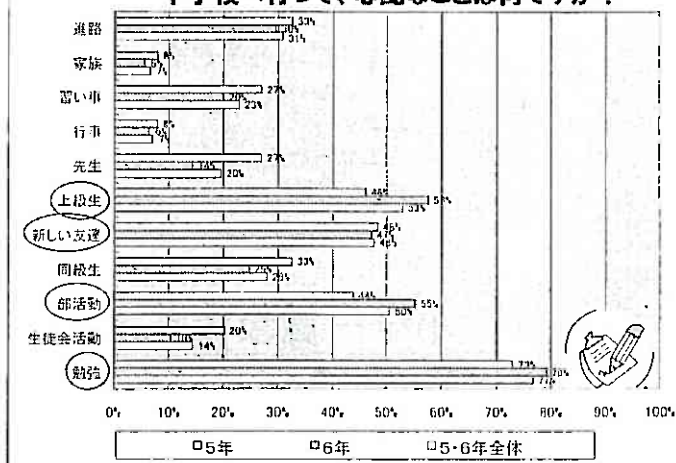
各企業さん、ロータリーさんの益々のご発展をご祈念申しあげまして終了させていただきます。

ご静聴頂きありがとうございました。

平成20年度 不登校児童生徒数

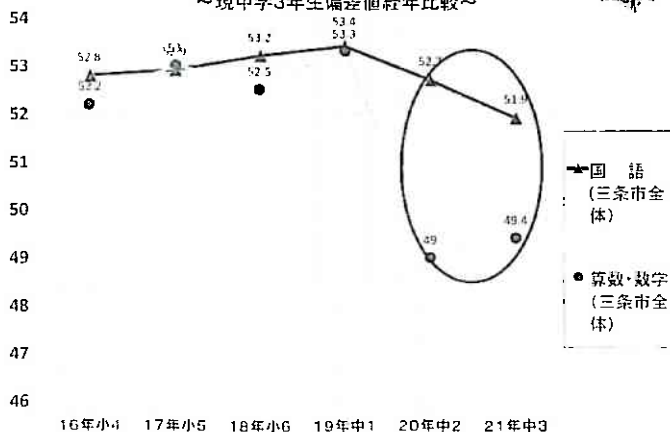


中学校へ行って、心配なことは何ですか？



全国標準学力検査(NRT)

～現中学3年生偏差値経年比較～



三条市小中一貫教育基本方針

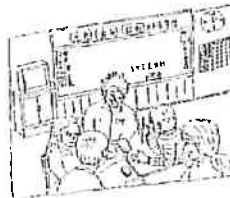
目指す児童生徒像

三条市の学校教育目標

未来を拓き、力強く生きるための「確かな学力」「豊かな心・個性」「健やかな身体」をもった児童生徒

小中一貫教育のねらい

- たくましく、すこやかに生きる力の育成
人・もの・ことのかかわりを深めることを通して、社会の変化に対応したたくましく生きる力を育成
- 心身の発達を考慮した見通しのある連続性の確保
現行の教育制度のもと、小学校及び中学校の教育課程を9年間の継続的なものとして編成・実施し、児童生徒の心身の発達に応じた教育を実施
- 中学校区で一体となった教育環境づくり
小中学校間の連携・交流を深め、保護者や地域と一体となった学校づくりを推進



小中一貫教育で期待される効果

1 自分を大切にし、人を思いやる心の育成

「中1ギャップ」の解消
(いじめ・不登校の減少)
自己肯定感・自己有用感の向上
基本的生活習慣の改善

2 学ぶ意欲を高め、夢や希望に向かって努力する子どもの育成

発達段階に応じた指導
小中の学習のスムーズな連続
学習意欲の向上

3 「ふるさと三条」を愛し、誇りに思う子どもの育成

将来の夢や希望の広がり
三条市への愛着や誇りの高まり

4 よりきめ細やかな支援の充実

特別支援教育の指導及び支援の充実
一人の教育的ニーズに応じたきめ細かな支援
進学に対する不安軽減

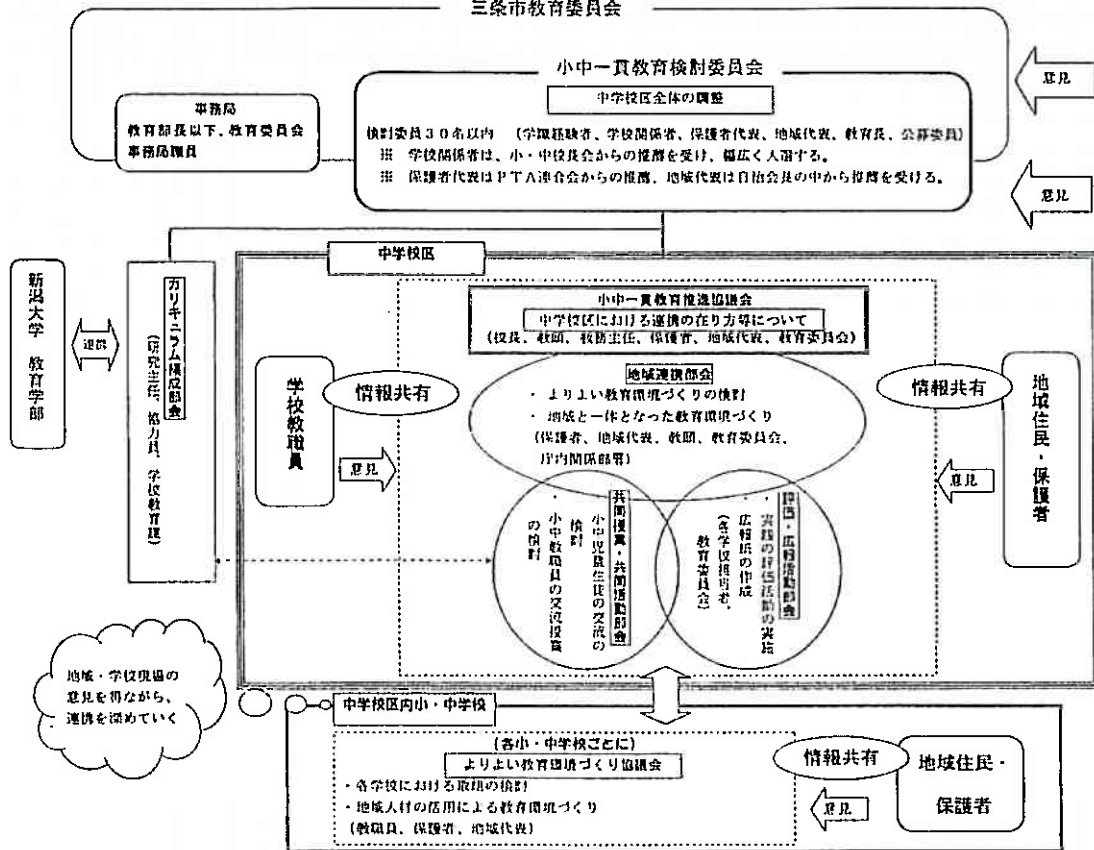
小中一貫教育実施のための主なスケジュール

| 年度 | 平成20年度 | 平成21年度 | 平成22年度 | 平成23年度 | 平成24年度 | 平成25年度 |
|--------------|---|---|---|---|--|--|
| 事業全体 | <ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育検討委員会設置 ・小中一貫教育モデル校の指定 ・小中一貫教育モデルプラン作成開始 | <ul style="list-style-type: none"> ・小中交流活動一部実施 ・教職員による相互乗り入れ授業一部実施 ・一部教科担任制 試行 | <ul style="list-style-type: none"> ・小中交流活動一部実施 ・教職員による相互乗り入れ授業一部実施 ・一部教科担任制 試行 | <ul style="list-style-type: none"> ・モデル校で小中一貫教育試行実施 ・小中一貫教育モデルプラン完成 | <ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育試行実施 ・小中一貫教育モデルプラン修正 | <ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育の全市導入(全面実施) |
| モデル校区 | <第一中学校区 第三中学校区> | | | | | 全中学校区で実施 |
| | プログラム開発・修正 | | 研究発表会開催 | | | |
| | 小中学校9年間を見通し、三条市の地域の特徴を活かしたモデルプランの作成 | <ul style="list-style-type: none"> ・小中交流活動、相互乗り入れ授業、一部教科担任制 試行 | <ul style="list-style-type: none"> ・小中交流活動、相互乗り入れ授業、一部教科担任制 実施 | | | |
| モデル校区以外の小中学校 | | プログラム作成協力 | | | | |
| | | | <ul style="list-style-type: none"> ・小中交流活動、相互乗り入れ授業、一部教科担任制 試行 | | <ul style="list-style-type: none"> ・小中交流活動、相互乗り入れ授業、一部教科担任制 実施 | |

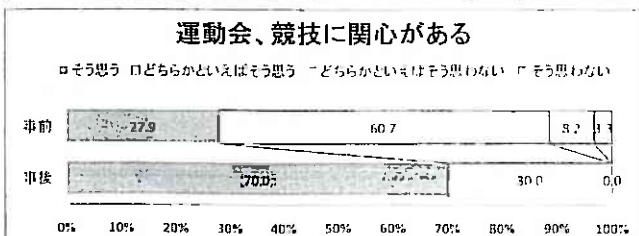
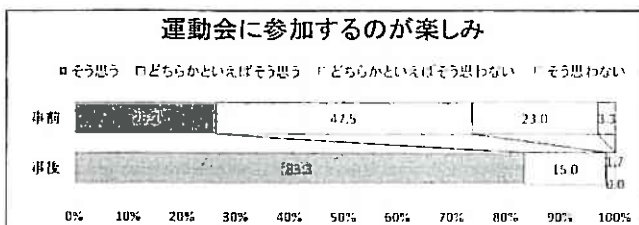
組織図

小中一貫教育検討組織

三條市教育委員会



20





中学校の先生による出前授業



小中の先生によるT・T授業

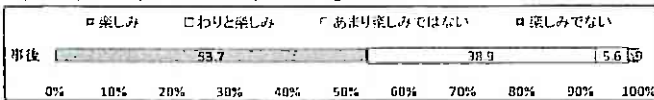
中学校の先生と学習したことがよく分かり、できるようになった



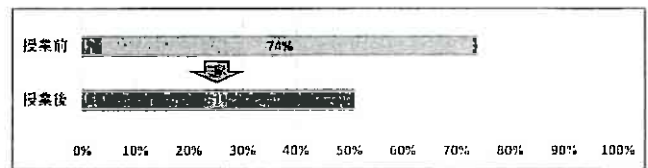
これからも中学校の先生と学習や活動をやりたい



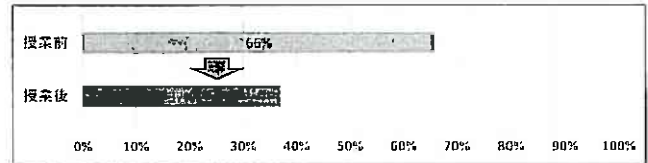
中学校へ行くのが楽しみなった



中学校の「国語」に不安がある



中学校の先生の教え方に不安がある



次週例会 1月27日 会員卓話 斎藤弘文 会員

次々週例会 2月3日 会員卓話予定

